

高等部 第*学年 美術科 学習指導案

日時	令和5年 **月**日(*) 13:20~14:10	場所	高等部*年*組教室
指導者	萩原 貴史(T1)、****(T2)		
単元名	スチレン版画で表現しよう		
本単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ スチレン版画の材料や用具を活用した刷り方などを身に付け、表現方法を工夫して表すことができる。 (知識及び技能) <高等部I段階A表現ア(イ)> ・ スチレン版画の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。 (思考力、判断力、表現力等) <高等部I段階B鑑賞ア(ア)> ・ 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛する心情を培い、心豊かな生活を創造している。 (学びに向かう力、人間性等) <高等部I段階目標ウ> 		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 版画で扱う用具の適切な使い方を身に付けることができる。 ・ スチレンボードの特性を理解して、表現方法を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 版画による表現のよさに気づき、自分や友達の作品についての造形的な美しさや製作者の工夫や心情を感じ取り、発表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しく表現方法を工夫しながら版画の活動に取り組み、作品制作を通して、創造活動の喜びを味わおうとしている。
単元設定の理由	<p>本グループは一般就労と福祉的就労を希望する生徒が混在する男子6名、女子1名の計7名で構成されている。全員が言葉での指示や説明を聞いて行動できる力をもっているが、教師の発問に対し、積極的に挙手をして発言できる生徒もいれば、自信のなさから自発的な発言が難しく、受け身で消極的になってしまい、コミュニケーション面に課題が残る生徒も存在する。また、不登校による長期欠席が続く生徒など、様々な実態が見られる。美術科の実態としては、絵を描くことが好きで休み時間や余暇活動で絵を描く生徒や、文化部に所属して作品展への出展を目指す生徒がいる一方で、描くことや造形に対して苦手意識が強く、自発的な発想や構想が難しく手が止まってしまう生徒がいる。また、基本的な用具の使い方が分からず、その都度教師の支援を受けながら作品を制作していく生徒など、実態は幅広い。美術科における発想や構想、モチーフの選択など様々な制作工程における経験不足が、作品制作に対しての苦手意識が強く出ていることの原因の一つと考える。そこで、自発的に発想や構想を考え、モチーフやデザインを作品として完成させることの喜びや達成感を味わい、造形的なよさや美しさ、自分の作品や友達の作品へ興味関心をもち、互いに完成した作品の鑑賞を行い、感じたことを伝え合える力を身に付けさせたいと考える。</p> <p>この学習内容については、特別支援学校高等部学習指導要領に【美術 I段階A表現ア(イ)】に「材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すこと。」また、【I段階B鑑賞ア(ア)】には「美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。」などの記載がある。</p> <p>本単元では、スチレンボードを使用した版画で作品を制作する。油性ペンでなぞることによって板に溝をつけることができ、描くことで版を制作することができるため、苦手意識のある生徒にも取り組みやすいと考える。また、彫刻刀を使用しないため安全面にも配慮しながら制作することができる版画となっている。モチーフは「自分の好きなもの」とし、慣れ親しんだものや興味のあるものを対象とすることで制作に意欲的に取り組めるようにしたい。スチレン版画の技法についての学習から始め、基本的な技能を身に付ける。モチーフの形を意識しながら丁寧に版を制作できるよう、その都度進捗状況を個別に確認しながら制作できるようにする。インクは水性を使用し、単色刷り、多色刷りと、各生徒の好みに応じて作品を仕上げる。完成後には、作品を展示して鑑賞会を実施する。ワークシートを基に、自分の作品についての発表や、友達の作品についての感想を述べる機会を設定し、作者の心情や表現の工夫、作品を見て感じ取ったことや考えたことを互いに伝え合うことで美術的情操を高め、今後の日常生活や卒業後の社会生活の中での余暇活動としての取り組みや、自己表現やコミュニケーション能力の可能性を更に広げてほしいと考え、本単元を設定した。</p>		

単元の指導計画 (13時間扱い) 本時は第12時	次	時	学習内容・活動	評価規準・評価方法	
	1 「スチレン版画の技法」	1	「制作工程を知ろう」	・ スチレン版画による技法や制作手順について知り、モチーフを考える。	・ 教師の実演や参考作品を見ながら、ワークシートに技法の名称や表し方について記入している。(知識・技能) [観察、ワークシート]
		2・3	「下絵を描こう」	・ モチーフの下絵を描き、カーボン紙を使用して版へ転写する。	・ タブレット端末や図鑑などを活用しながら好きなモチーフを選び、下絵を描いている。(思考・判断・表現) [観察]
	2 「スチレン版画を制作しよう」	4・5・6・7	「版を制作しよう」	・ 油性ペンを使用してスチレン版の表面を溶かしながら下絵をなぞっていく。	・ モチーフの形を意識しながら、丁寧に油性ペンで線をなぞり、スチレン版を彫っている。(知識・技能) [観察]
		8・9・10・11	「刷ろう」	・ ばれんと水性インクを使用して和紙へ刷り、作品を仕上げる。	・ 用具を正しく使用し、配色やバランスを考えながら刷り、作品を完成させることができる。(思考・判断・表現) [観察]
	3 「作品を鑑賞しよう」	12	「鑑賞会をしよう」	・ 教室内に作品を展示して、制作中の様子を振り返りながら作品を鑑賞する。	・ ワークシートを参考にしながら、自分の作品や友達の作品を鑑賞して感じたことを発表している。(思考・判断・表現) [観察、ワークシート]
13		「作品を展示しよう」	・ 観覧者が見学しやすい配置を考えながら展示を行う。	・ 話し合い活動を通して、よりよい展示方法について考えている。(主体的に取り組む態度) [観察]	

〔本時の指導〕

1 本時の目標 「ワークシートを参考にしながら、自分の作品や友達の作品を鑑賞して感じたことを発表することができる。」
【思考力、判断力、表現力等】

2 生徒の実態及び個別目標

生徒	生徒の実態	個別目標	自立活動の目標
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の作品について、良い点や工夫した点を考えてワークシートへ一程度で記入することができる。 ・ 教師から促しを受けて、自分の考えや意見を相手に伝えることができる。 ・ 美術の授業に対して、苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の作品の良い点について、具体的な理由を交えながら伝えることができる。 <p>(思考力、判断力、表現力等)</p>	
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の言葉かけを受けながら、自分の作品について、頑張った点を考えて答えることができる。 ・ 教師の促しを受けて、自分の意見を発表することができる。 ・ 欠席が多く、作品を完成させることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の作品の良い点や工夫した点に気付き、記入したワークシートを参考にしながら発表することができる。 <p>(思考力、判断力、表現力等)</p>	
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美術に興味があり、制作に意欲的である。自分の作品の良い点や工夫点を考えてワークシートに一程度で記入することができる。 ・ 緊張した場面では、自発的な発表が難しく、教師の質問に対して、指差しやうなずき、ジェスチャーで伝えることができる。必要に応じて教師が代読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の作品の良い点や工夫点について、ワークシートを参考にしながら発表することができる。 <p>(思考力、判断力、表現力等)</p>	

D	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵を描くことが好きで、工夫しながら作品を制作することができる。 ・ 自分や友達の作品の良い点や工夫点をワークシートに記入することができる。 ・ 話をする教師や発表する相手へ視線を向けることが難しい時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の作品を鑑賞して感じたことを、鑑賞カードを参考にしながら発表することができる。 <p>(思考力、判断力、表現力等)</p>	
E	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の作品について、頑張った点をワークシートに記入することができる。 ・ 欠席が多く、作品を完成させることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の作品の良い点や工夫した点に気づき、記入したワークシートを参考にしながら発表することができる。 <p>(思考力、判断力、表現力等)</p>	
F	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の支援を受けながら、自分の作品について頑張った点を考えて一文程度でワークシートに記入することができる。 ・ 発表する際、声が小さく聞き取りにくいことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の作品の良い点や工夫点について、相手に聞こえる声の大きさを意識しながら発表することができる。 <p>(思考力、判断力、表現力等)</p>	
G	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師に確認しながら、自分の作品の良い点や工夫した点についてワークシートへ記入することができる。 ・ 自分の考えを発表することができる。 ・ 作品の制作に対して少し苦手意識があり、投げやりな態度や、気持ちが不安定になってしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の作品の良い点と工夫点について具体的に説明したり、友達の作品を鑑賞した感想を発表したりすることができる。 <p>(思考力、判断力、表現力等)</p>	

3 展開

※形態の表記は 全体:全、グループ:グ、個別:個

形態 時間 (分)	主な学習活動・内容 (必要に応じて配置図等を入れる)	指導の手立て(各Tの役割等)※評価は□で囲む
全 (1)	1 始めの挨拶をする。 2 本時の学習内容と全体目標を確認する。 今日学習 スチレン版画の鑑賞会をしよう 目標 自分の作品や友達の作品を鑑賞し、感じたことを発表しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1 は、挨拶時に姿勢を正すよう声かけをし、学習を始められるようにする。 ・ T1 は、本時の学習内容と全体目標を板書を読み上げながら伝える。 ・ T1 は、学習内容の見通しがもてるよう、本時で使用するワークシートや鑑賞カードを提示しながら説明する。
全 (5)	3 前時までの学習を振り返る。 ・ スチレン版画制作の様子を映像で確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1 は、各生徒の制作中の動画や写真を見ながら、前時までの学習を振り返り、スチレン版画に関する技法や制作手順等について再度確認できるようにする。 ・ T2 は、テレビに HDMI ケーブルでタブレット端末を接続し操作をする。 ・ T2 は、注視できていない生徒に言葉かけをする。
全 (1)	4 作品紹介の順番と発表の内容について確認する。 (1) ミニボードに提示された順番表を見て、自分の順番を確認する。 (2) 発表用ワークシートの項目を確認し、発表する内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1 は、事前に決めた発表の順番表を提示し、生徒が見通しをもてるようにする。 ・ T1 は、発表の際の注意事項を説明する。 ・ 事前に記入した発表用ワークシートを確認しながら、項目に沿って発表していくこと、進行は教師が行うことを伝える。また、待機している生徒は、鑑賞カードを記入することを伝える。
個 (10)	5 ワークシートに記入した内容を基に、自分の作品の紹介をする。 (1) 作品を机のスタンドに配置し、自分の作品について頑張った点や工夫点、難しかったところなどを含めて発表をする。 (2) 待機している生徒は、発表者の鑑賞カードに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1 は、順番に生徒を前方へ誘導し、発表を促す。また、発表の合間に鑑賞カードを記入することを伝える。 ・ T1 は、生徒が発表の際にどのように発言したらよいか分からなくなってしまった際に、必要に応じて言葉かけをする。 ・ T1 は、必要に応じて生徒 C、生徒 D、生徒 F の発表に対して作った作品の良さや制作時の様子などを補足する。 ・ T1 は、発表が終わった生徒へ着席を促し、スムーズに作品紹介を行えるようにする。 ・ T2 は、発表する生徒が制作した作品を電子黒板に映す。 ・ T2 は、必要に応じて待機している生徒へ鑑賞シートの記入を促す。 ・ T2 は、注視できていない生徒に言葉かけをする。

		<p>[評価]</p> <p>B 自分の作品の良い点や工夫した点に気付き、記入したワークシートを参考にしながら発表している。(思考・判断・表現) [観察、ワークシート]</p> <p>C 自分の作品の良い点や工夫点について、ワークシートを参考にしながら声を出して発表している。(思考・判断・表現) [観察、ワークシート]</p> <p>E 自分の作品の良い点や工夫した点に気付き、記入したワークシートを参考にしながら発表している。(思考・判断・表現)[観察、ワークシート]</p> <p>F 自分の作品の良い点や工夫点について、相手に聞こえる声の大きさを意識しながら発表している。(思考・判断・表現) [観察、ワークシート]</p> <p>G 自分の作品の良い点と工夫点について具体的に説明したり、友達の作品を鑑賞した感想を発表したりしている。(思考・判断・表現) [観察、ワークシート]</p>
<p>個 (15)</p>	<p>6 鑑賞カードに記入しながら鑑賞会を行う。</p> <p>(1) テーブルに用意されたスタンドに作品を配置する。</p> <p>(2) 友達の作品を鑑賞しながら、作品を見て感じたことを鑑賞カードに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1 は、鑑賞会について説明する。その際、作品の良い点や工夫されている点、制作者の意図や思い等も含めながら感じたことを記入するよう伝える。 ・ T1 は、感想の例文を提示し、生徒が文章で表現する際の参考となるようにする。 ・ T2 は、作品の配置を整える。 ・ T1 は、鑑賞時間を伝え、自由に作品を見て回るように伝える。また、作品に関することについて、自由に会話や質問できるように促す。 ・ T2 は、生徒達が会話や質問をする際に、必要に応じて支援する。
<p>全 (10)</p>	<p>7 鑑賞会の感想を発表する。</p> <p>(1) 友達の作品を鑑賞して、良い点や気付いた点を含めた感想を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1と T2 は、鑑賞する生徒の様子を確認しながら、どのように記入したらよいか分からない生徒や、言葉での表現につまずいている生徒に対し、必要に応じて助言をする。また、生徒自らの発言のヒントとなるような言葉かけをする。
		<p>[評価]</p> <p>A 友達の作品の良い点について、具体的な理由を交えながら伝えている。(思考・判断・表現) [観察、ワークシート]</p> <p>D 友達の作品を鑑賞して感じたことを、鑑賞カードを参考にしながら発表している。(思考・判断・表現) [観察、ワークシート]</p>
		<p>(全体の評価)</p> <p>ワークシートを参考にしながら、自分の作品の良い点や工夫点、友達の作品についての感想を発表している。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】 [観察、ワークシート]</p>
<p>全 (7)</p>	<p>8 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 本時の学習を振り返り、感想を発表する。</p> <p>(2) 次時の学習内容について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1 は、生徒の頑張った点や良かった点・気付いた点について称賛し、達成感を感じながら今後の学習に意欲的に取り組むことができるようにする。 ・ T1 は、次時で観覧者が見学しやすい配置を考えながら展示を行うことを伝える。 ・ T2 は、注視できていない生徒へ言葉かけをする。

全 (1)	9 終わりの挨拶をする。	・ T1 は、学習の終わりを意識するために姿勢を整えてから挨拶をするように言葉かけをする。
----------	--------------	---

【板書計画】

美術 スチレン版画で表現しよう

今日の学習

スチレン版画の鑑賞会をしよう。

目標

自分の作品や友達のを鑑賞して感じたことを発表しよう。

学習内容

- 1、制作の振り返り
- 2、自分の作品紹介
- 3、鑑賞会
- 4、感想発表
- 5、まとめ

発表順

作品紹介の順番表

鑑賞のポイント

- 1、モチーフについて
- 2、版画の色使いについて
- 3、作者の作品に込めた思いについて

感想の例文

- ・モチーフを選んだ理由を聞いて、**素敵だな**と思いました。
- ・色が混ざり合った部分が、**綺麗なグラデーションだな**と思いました。
- ・〇〇さんの発表を聞いて、**〇〇に興味があるんだな**と思いました。

【座席配置図】

